



平成25年6月10日

平和島物流センター(仮称)の着工

株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ(代表取締役社長:中川雅行、本社:東京都千代田区、以下、「NTTロジスコ」)は、京急開発株式会社(取締役社長:佐藤昌弘、本社:東京都大田区、以下、「京急開発」)との共同事業にて、平和島物流センター(仮称)の建設に着手いたしました。

(1) 開発の経緯

医療機器物流、IT機器物流等のお客様ニーズに対応するため、新倉庫建設用地を探していたNTTロジスコと、再開発事業を検討していた京急開発が、共同事業として平和島物流センター(仮称)を建設いたします。

建設予定地は、京急線平和島駅・大森海岸駅、東京モノレール流通センター駅の3駅より徒歩圏内であるとともに、首都高速1号羽田線平和島ICに隣接しており、都心、羽田空港や東京湾大井ふ頭など「陸・海・空」へのアクセスに優れた物流にとって利便性の高い場所です。

平和島物流センター(仮称)は6層の倉庫と、最上階に事務所を配置した構造になっており、倉庫は一括でNTTロジスコが3PL事業を運営します。

(2) 新倉庫の特徴

新倉庫は、基準階フロアあたり約3,600坪(約11,800㎡)を分割してお客様ニーズに沿った区分割りで提供できる構造とし、倉庫有効天井高さを5.5m(1-4階)、4m(5-6階)の2種類に設定して、高効率な保管が可能なエリアと流通加工に適したエリアを備えた設計となっております。

空調設備を全フロアで完備し(バースに面しているブロックを除く)、外壁も金属サンドイッチパネルを採用して空調効率を高めるとともに、監視カメラ・入室セキュリティ機器を標準装備するなどセキュリティ対策を充実させ、お客様の多様なニーズに対応できるようにしております。

当社は新倉庫を活用し、物流トータルアウトソーサーとしてお客様へ最適なサービスの提供に努めて参ります。

【完成予想図】※建物の仕様は変更される可能性があります。



